

施策番号	332	施策名	生涯学習の推進	令和3年度主管課名	生涯学習課
総合計画 体系	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	令和3年度課長名	黒瀬 豊
	関係課名			シート作成者	岩谷理恵子

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	1年度	2年度	3年度	4年度	7年度
ア 町民	→	ア	人口	人	見込値			11,970	11,800	11,280
						実績値	12,754	12,625	12,497	
イ 生涯学習施設	→	イ	町内の生涯学習施設数	施設	見込値			17	17	17
						実績値	17	17	17	
ウ	→	ウ			見込値					
						実績値				
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1年度	2年度	3年度	4年度	7年度
ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう	→	ア	何らかの学習活動を行っている町民の割合	%	目標値	50.0	50.0	40.0	41.0	44.0
					実績値	38.4	42.4	40.1		
					達成率	76.8%	84.8%	100.3%	97.8%	91.1%
イ	→	イ	公民館講座受講者数	人	目標値	20,000	20,000	20,000	20,500	24,000
					実績値	24,470	15,734	11,926		
					達成率	122.4%	78.7%	59.6%	58.2%	49.7%
ウ	→	ウ	公民館利用人数(参考)	人	目標値	83,000	83,000	70,000	70,000	70,000
					実績値	90,741	65,237	63,673		
					達成率	109.3%	78.6%	91.0%	91.0%	91.0%
エ	→	エ	住民一人当たりの図書貸し出し冊数(参考)	冊	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
					実績値	6.9	6.8	7.4		
					達成率	69.0%	68.0%	74.0%	74.0%	74.0%
⑤ 成果指標設定の考え方	町づくりを担う最大の力は住民であり、中でも自ら学ぶ人間が実践に繋げていくというために、公民館の講座を利用、図書館利用により学習意欲が高まることを設定した。			⑥ 成果指標の把握方法と算定式等	ア.町民アンケート イ・ウ・エ 公民館講座受講者数・公民館利用者数・住民一人当たりの図書貸出冊数ともに担当課調べ					

2. 施策の役割分担

施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
		<ul style="list-style-type: none"> 町民は、自ら学習テーマを見つけ、自主的に学習活動を行うとともに、学習成果を地域づくりに活かすよう努める。 地域・団体は、学習成果や人材を活用するよう努める。 事業所は、町民や地域活動に協力するとともに、人材を事業活動に活用するよう努める。

3. 評価結果

3 年度 の 評価結果	1. 施策の成果水準とその背景・要因	
	① 施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か? その要因は?)	
	コロナ禍の影響もあり目標値は下回ったが、参加者の人数制限や開催日の変更を行い公民館講座は開催できた。	<input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input type="checkbox"/> 目標値どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を下回る
	② 成果指標の時系列比較(成果は向上したか? 低下したか? 要因は?)	
	中央公民館利用者は、コロナ禍で行動制限があるため減少傾向にある。何らかの学習活動に取り組んでいる町民の割合は、教室・講座の中止も影響したと思われる、令和3年度は減少しているものの、令和元年度から比べると増加しており一定の成果が見られる。図書館の貸出冊数は、一度に借りられる冊数を増やしたこともあり成果が向上している。	<input type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input checked="" type="checkbox"/> 低下した
	③ 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)	
	公民館や総合文化施設などの教育施設の数に隣接する市町村と比較すると多く、各施設に常勤職員を配置し、住民の学習意欲を向上させる体制が整っている。利用者のニーズに合わせ図書館の開館時間を変更するなど利用しやすい環境を整え、サービス向上を図っている。鏡野町の住民一人あたりの図書貸出冊数は県内で上位(3位)である。	<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
	2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国県の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など	
	講師・関係団体構成員の高齢化により学習活動が困難な状況になりつつあるため、人材の確保が重要となってくる。またコロナ禍の影響により学習活動の開催方法について工夫が必要である。	
	3. 施策の振り返りと総括(3年度の事務事業や取組の成果は? うまくいかなかった取組・問題点と原因は?)	
① 施策の成果向上につながった主な事務事業	羽出公民館臨時管理費	
② 施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業	社会教育学級開設事業	
③ 施策全体の振り返りと総括		
学習施設の整備のため、羽出公民館の大規模改修を行いました。中高年層以外の年齢層のニーズを把握し、事業を展開していくことが必要である。また、パソコン講座はパソコン操作を習得している方も多く、利用者増に繋がらないため新しい講座開設を検討することが必要と考える。		
4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取り組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?)		
① 今後施策の成果向上につながる主な事務事業	社会教育学級開設事業・香北公民館整備事業・泉公民館整備事業	
② 施策全体の今後の課題と改革改善の方向		
公民館機能の充実だけでなく、学習施設の充実のため令和4年度の完成に向け老朽化した香北公民館、泉公民館の整備を行っている。学習活動に勤しめる住民は一定の成果が見られるため、生涯学習に取り組めるような働きかけを継続していく。シニアスクール推進事業は中学校施設を利用が不可欠であるが、コロナ感染症の影響やスペースの問題もあり今後の事業継続について検討が必要。		